Creative Enzymes®

ストレプトコッカス・ピオゲネス由来のβ-N-アセチルヘキソサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1220

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は、複□な炭水化物から非還元末端のβ1-2、β1-3、β1-4およびβ1-6結合のN-アセチルグルコサミンを放出します。低濃度（<50 mU/ml）のオリゴ糖とインキュベートすると、酵素はGlcNAcβ1-2Man、GlcNAcβ1-4ManおよびGlcNAcβ1-6Manの結合を区別できます。このような条件下では、酵素は基本的にβ1-2結合のGlcNAcのみを切断しますが、2つの条件があります。第一に、β1-2 GlcNAcは、置換されたマンノースがC-6で置換されている場合には加水分解されません。したがって、この酵素は三叉オリゴ糖の分析に有用です。第二に、保存されたペンタサッカライドコアのβ結合マンノースが「ビセクティング」GlcNAcで置換されている場合、α1-3アームのマンノースに結合したβ1-2結合のGlcNAcのみが切断されます。酵素の濃度が高くなると、β1-4およびβ1-6結合のGlcNAcも加水分解される可能性があります。
別名	ベータ-N-アセチル-D-ヘキソサミニダーゼ; N-アセチルヘキソサミノヒドロラーゼ; β-N-アセチルヘキソサミニダーゼ; N-アセチル-β-D-グルコサミニダーゼ, β-N-アセチルグルコサミニダーゼ

製品情報

由来	ストレプトコッカス・ピオゲネス M1 GAS SF370
形態	凍結乾燥粉末として供給されます。
EC番号	EC 3.2.1.52
CAS登□番号	9012-33-3
分子量	67487.4 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	5.56 U/mg
最適pH	~ 7.6
最適温度	50°C（50°Cまで安定）
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.6の10 mM HEPESバッファー中で、1 mMのpNP-N-アセチル-β-D-グルコサミニドから1μmolのpNPを1分あたり放出するのに必要な酵素の量として定義され、410 nmで測定されます。

使用法とパッケージング

調製方法	0.25 mLのH2Oを加えて再構成します（OGlcNAcaseに□して最終濃度10.78 mg/mL（59.92 U/mL）を得るため）。使用間は-20°Cで保管してください。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください